

**(仮称) 教育福祉総合センター建設工事  
基本設計 (案)**

## 敷地概要

[所在地] 昭島市つつじが丘3-3-15 (旧つつじが丘南小学校敷地)  
敷地面積: 16,500.52m<sup>2</sup> (うち1,250 m<sup>2</sup>は(仮称)児童発達支援センターの敷地分割)

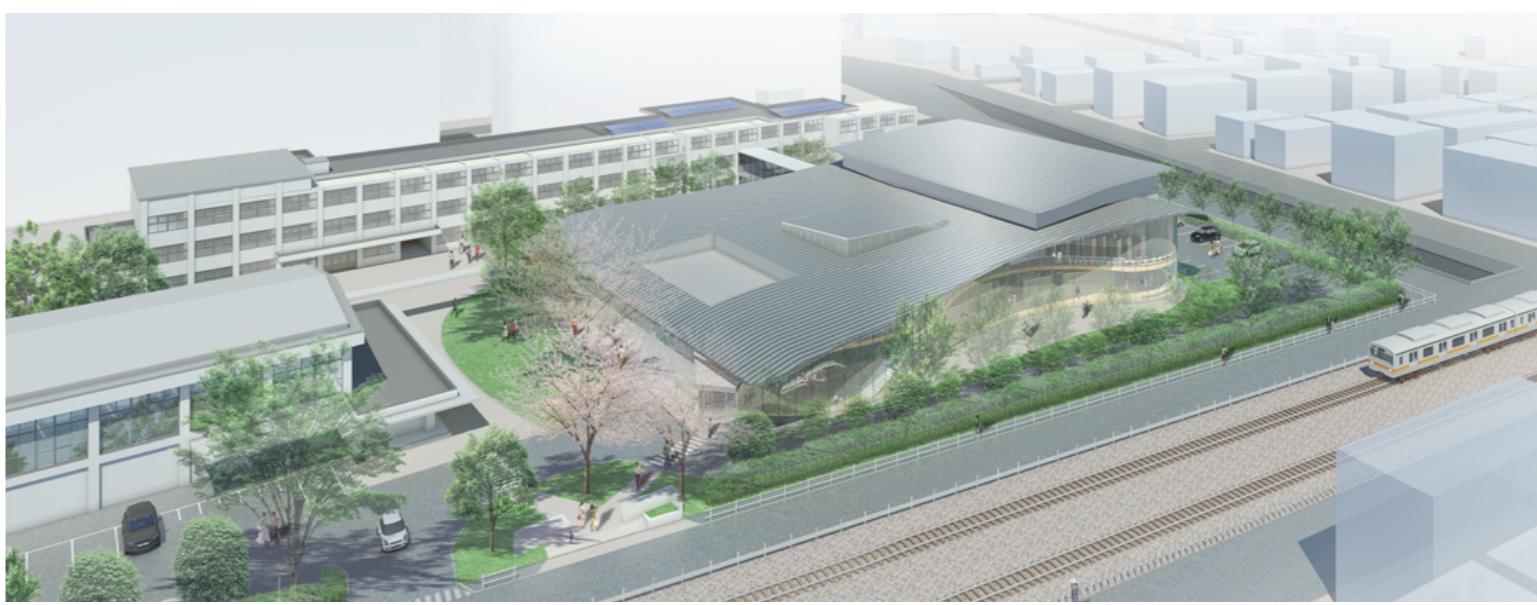
## 延床面積・階数

建物	新築棟 (教養文化施設)	既存校舎	既存体育館
構造	鉄骨造一部 鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
階数	3階	3階	2階
建築面積	3016 m <sup>2</sup>	2088 m <sup>2</sup>	942 m <sup>2</sup>
延床面積	5647 m <sup>2</sup>	5039 m <sup>2</sup>	1041 m <sup>2</sup>

## 案内図



## イメージ



## 整備の考え方

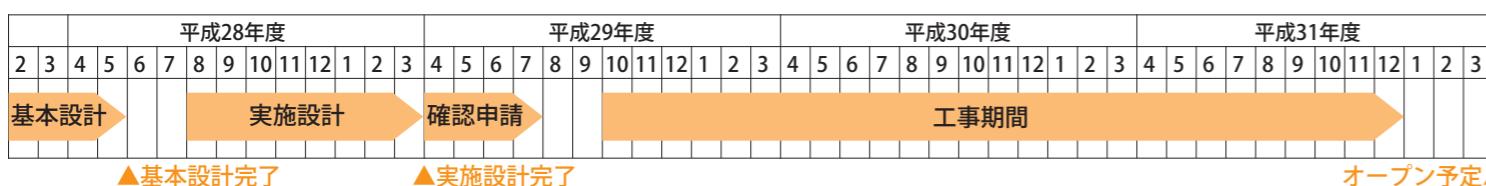
本市では、余暇時間の拡大や市民意識の変化に伴い、生涯学習に対する市民の関心が高まってきており、高齢化への対応に併せ教育・文化の充実が求められてきました。こうした状況を受け、平成24年3月に「昭島市社会教育複合施設 建設計画基本方針・基本計画」(以下「基本方針・基本計画」という。)を作成し、市民の交流の場と市民の様々な課題解決を支援する生涯学習の知の拠点となる図書館・郷土資料室・教育センター・男女共同参画センターの整備を計画しました。

その後、「基本方針・基本計画」を踏襲し、さらに児童発達支援相談部門・子ども家庭支援センター・子育てひろばを加え「(仮称)教育福祉総合センター」とし、つつじが丘南小学校の跡地と校舎を活用し、平成31年度の完成を目指し総合的に整備することとしました。

## 機能配置

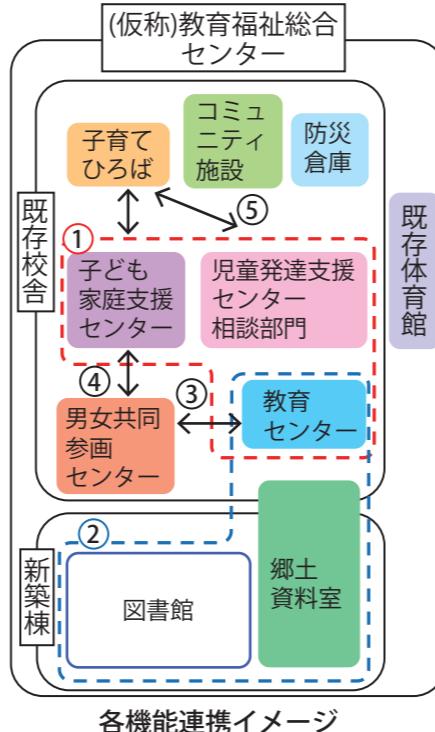
階層	新築棟	既存校舎	既存体育館
1階	図書館・郷土資料室・シアター等 企画展示・カフェ等	郷土資料室・子育てひろば・子ども家庭支援センター・児童発達支援相談部門・コミュニティ施設・事務室・会議室・相談室等 防災倉庫	体育館
2階	図書館・自動化書庫等	教育センター・男女共同参画センター・事務室・相談室・会議・講習室等	
3階	機械室等	郷土資料室・教育センター・会議・講習室等	

## 今後のスケジュール(予定)



## 各部門の連携による新たに生まれる学び・支援の共有

- ① 各課の相談窓口を一本化することで教育と福祉が一体となった継続的な支援が可能になります。
- ② 図書館、教育センター、郷土資料室の連携により、書籍と実物を同時に活用した教育の場を創出することが可能になります。
- ③ 教育センターと、男女共同参画センターの連携により、同様の立場にある親が集う機会を提供することができます。
- ④ 子ども家庭支援センターと、男女共同参画センターの連携により、子育てに悩みを持つ親が集い、話し合いなどを行う場を紹介することができます。
- ⑤ 子育てひろばを通して、子どもや保護者へのくつろぎや交流の空間を提供しながら児童発達支援センター・子ども家庭支援センターへの連携を図ります。

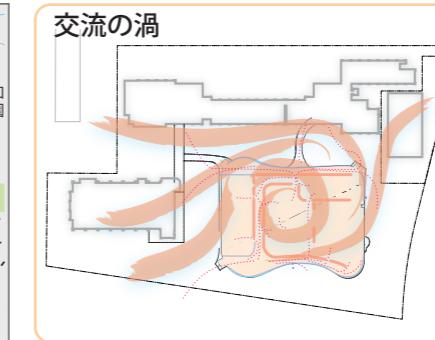


各機能連携イメージ



## ① 昭島市のつながりの拠点となる施設

- ・本施設は、利便性の高い立地で、市の方針である「つなぐ・広げる・見つける・育む」活動をより効果的に行なうことが可能となります。
- ・激変するネットワーク環境や情報サービスなどを柔軟に取り入れ、あらゆる世代が満足できる優しさにあふれたユニークデザインとします。
- ・市北部には玉川上水や昭和の森など自然豊かな環境、南部には多摩川に沿った豊かな土地を活かした農地と住宅地が広がる地勢を有しています。市全域に渡りネットワーク化していく拠点をつくります。

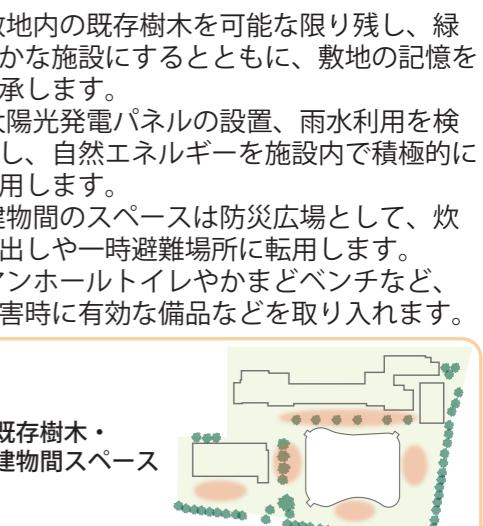


## ② 新築棟を核として交流を促す学び舎

- ・敷地内の既存樹木を可能な限り残し、緑豊かな施設にするとともに、敷地の記憶を継承します。
- ・太陽光発電パネルの設置、雨水利用を検討し、自然エネルギーを施設内で積極的に利用します。
- ・建物間のスペースは防災広場として、炊き出しや一時避難場所に転用します。
- ・マンホールトイレやかまどベンチなど、災害時に有効な備品などを取り入れます。



## ③ 環境配慮・災害時



## 市民ワークショップ

市民ワークショップを通じて多くの市民の皆さんからのご意見・ご要望等をいただいたところであり、検討した結果、施設計画に取り入れることにします。この他にも、多くの意見を頂いておりますので、今後、運営面も含めて検討させていただきます。

## だれでも使いやすい明るい施設

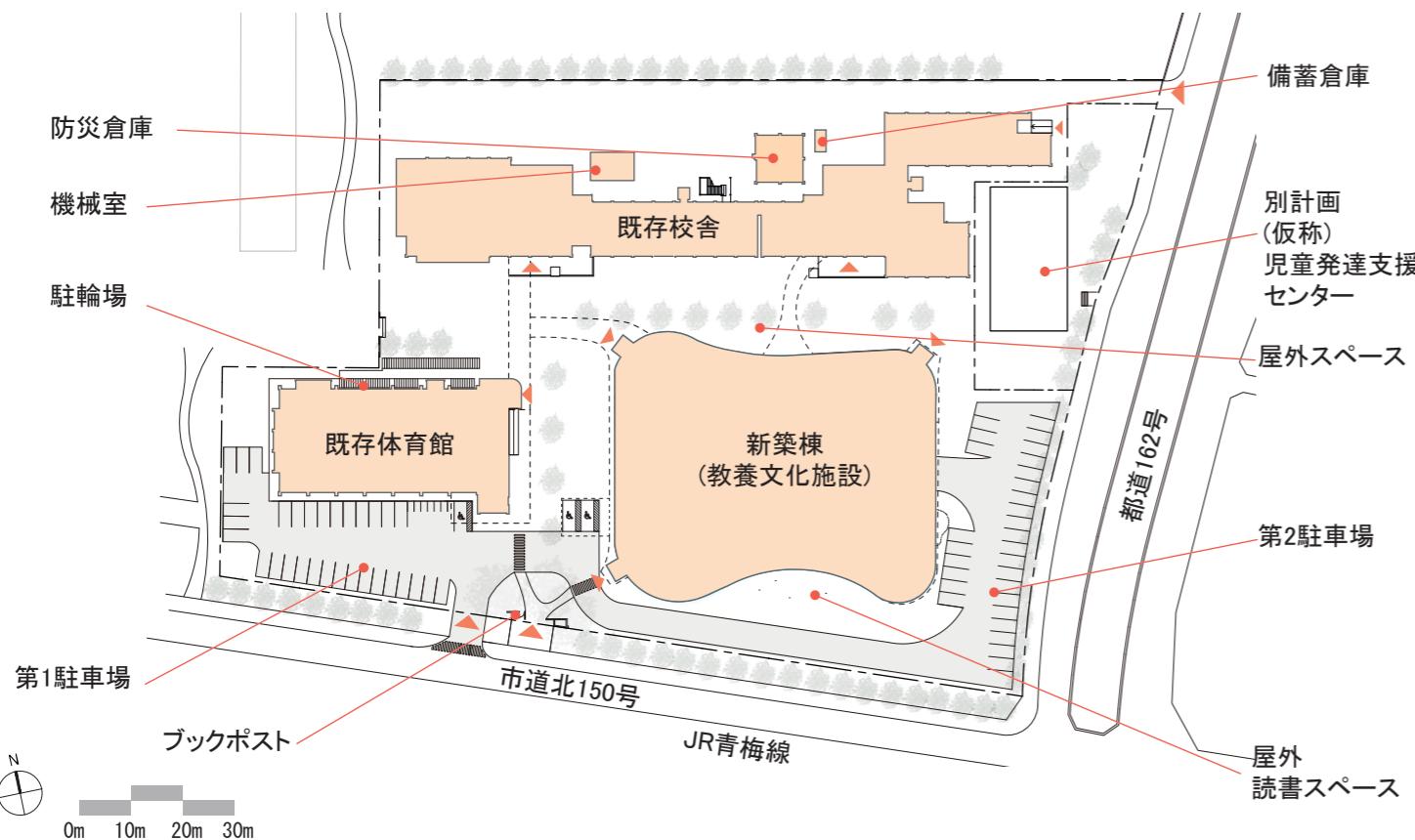
- ・エレベーター設置台数の増設を検討します。
- ・階毎に段差のないフロアを検討します。
- ・施設内を可能な限り、下足とすることを検討します。
- ・子育てひろばを日当りの良い場所への配置を検討します。

## 新たな知との出会いを生む学びの場

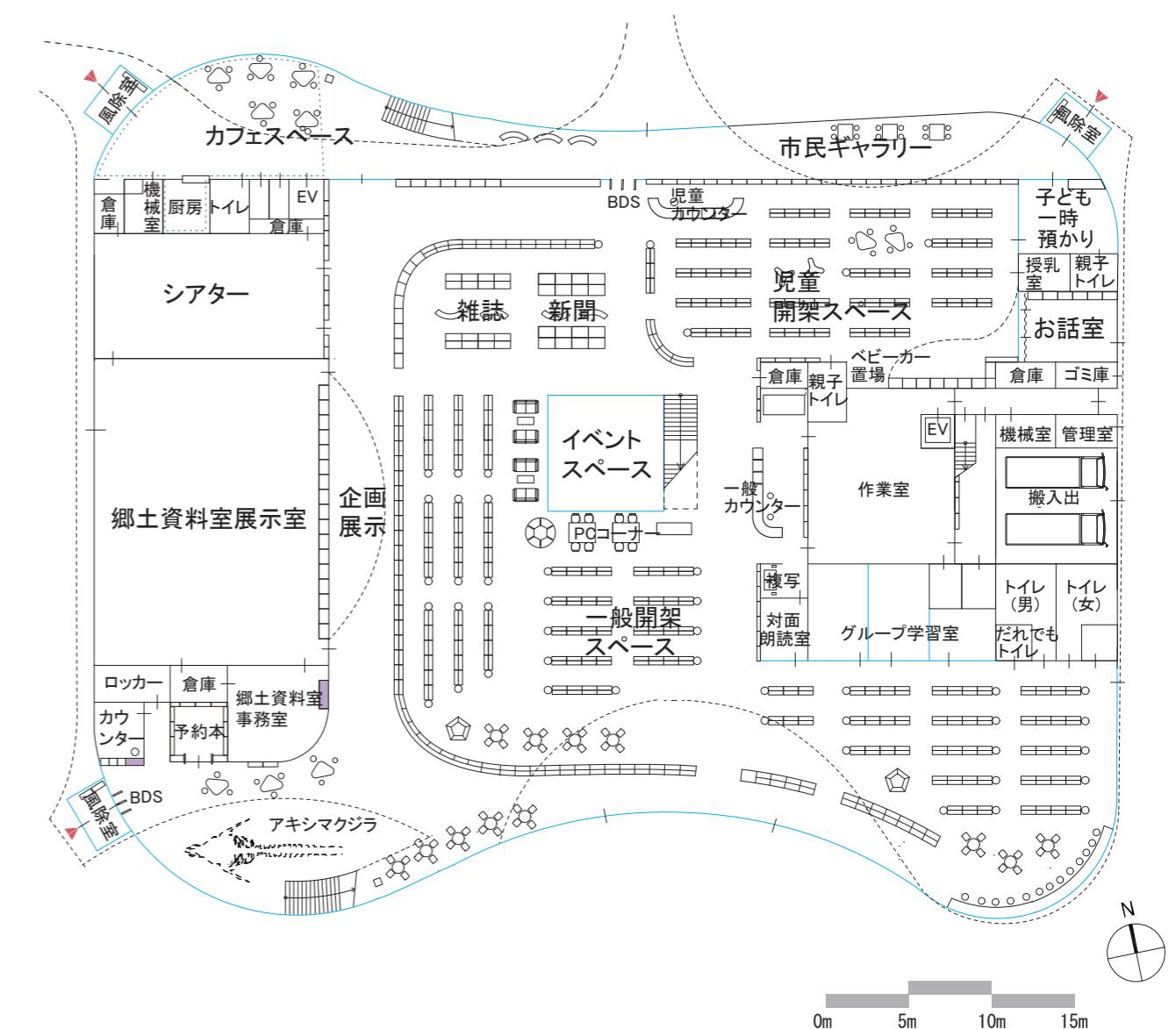
- ・「本との出会い」が生まれるような配架計画を検討します。
- ・新築棟の郷土資料室展示室と図書館ゾーンの一体利用を可能とし、本を持ち出せるゾーンを広くすることを検討します。
- ・既存校舎に民具を体験できるスペースを検討します。

## 配置計画

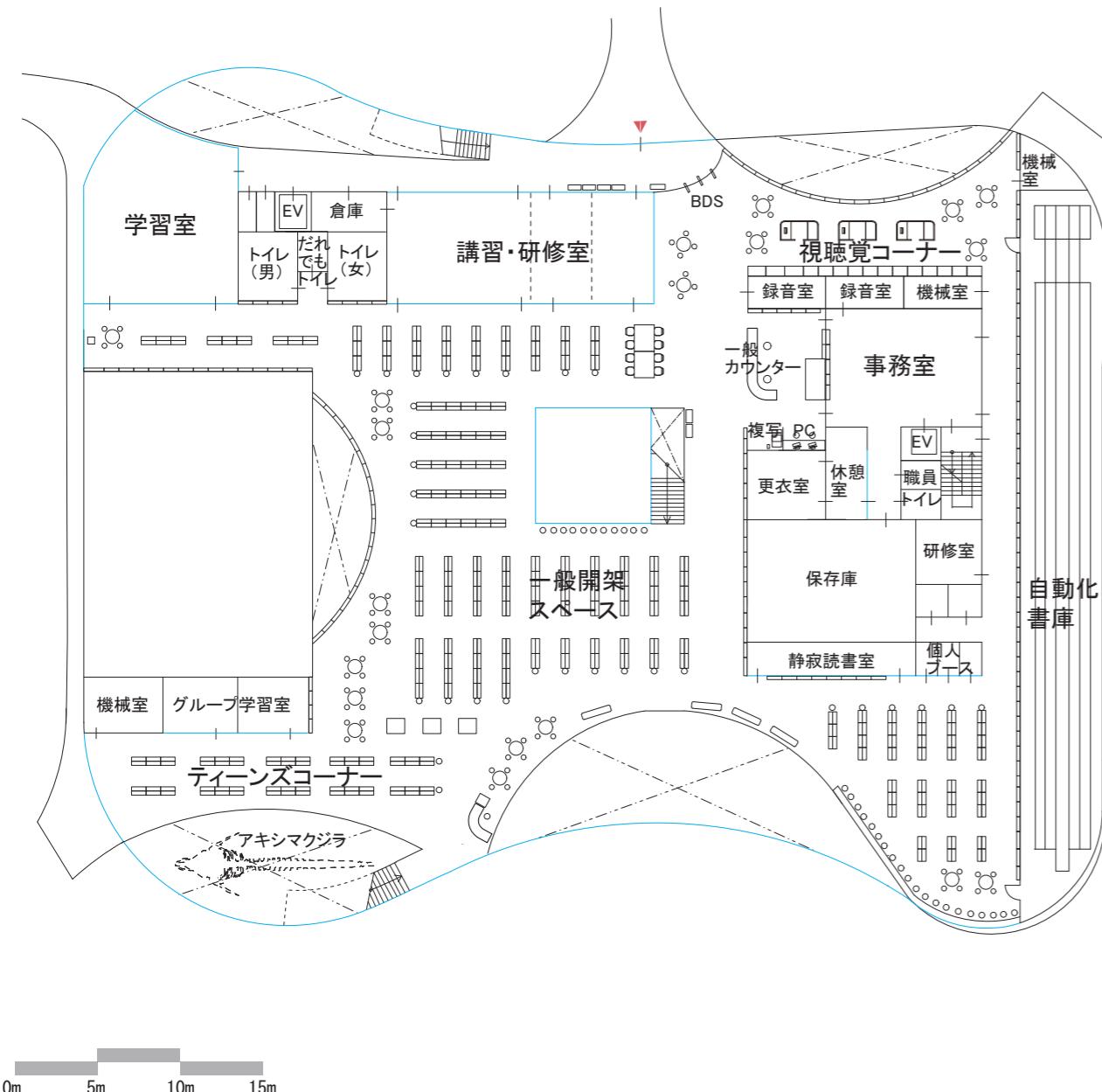
## 1階平面図 (新築棟)



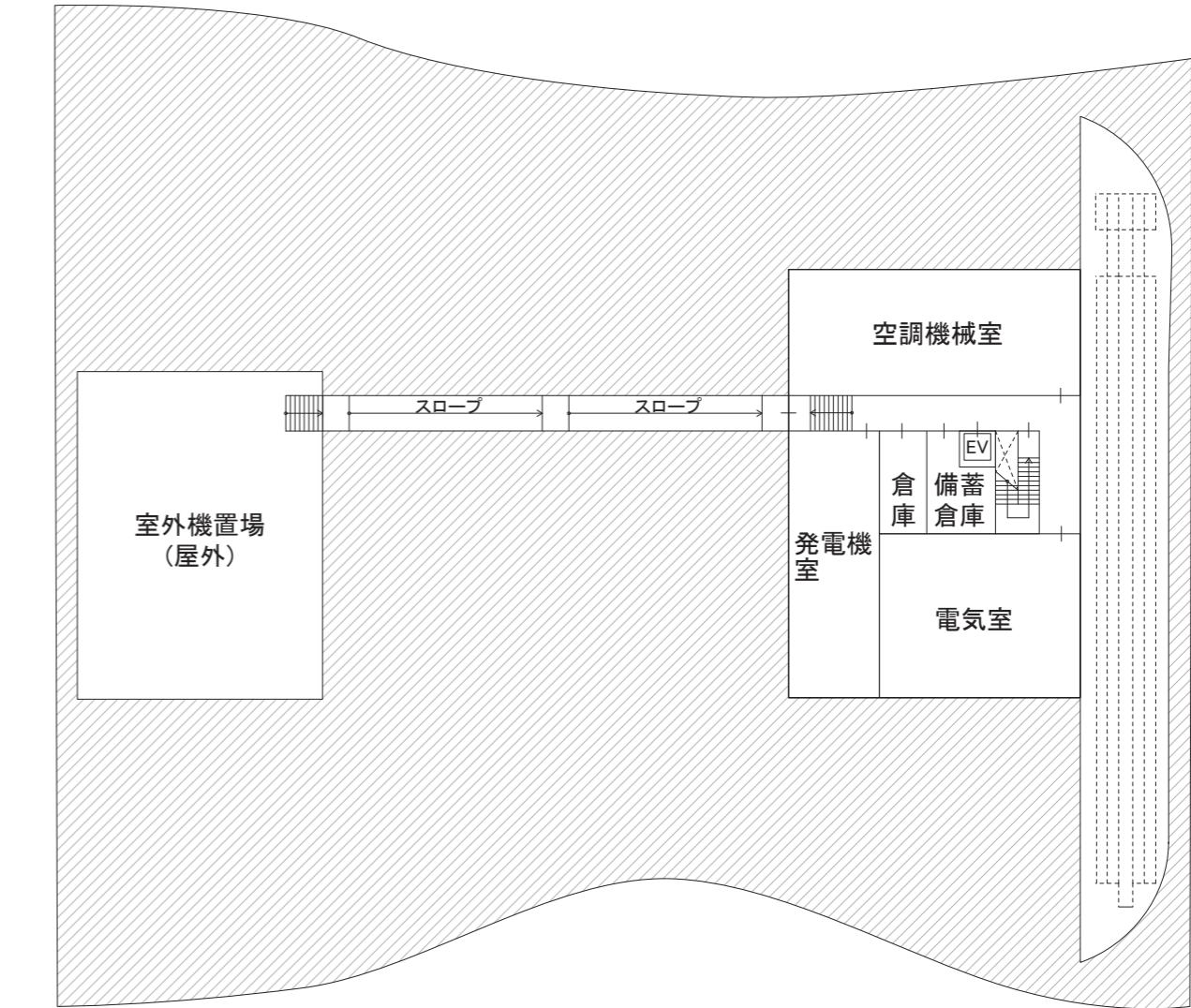
- ・校庭の新築棟を介して各施設のアクセスの動線を計画することで、各施設の連携を高めると共に、新たな交流が生まれます。
- ・既存校舎、既存体育館の出入口、敷地出入口の校門を活用することで、つつじが丘南小学校の記憶が継承されます。
- ・敷地の東西に駐車場を配置することで、来館者が利用施設毎に駐車場を選択可能となり、利便性の高い施設となります。



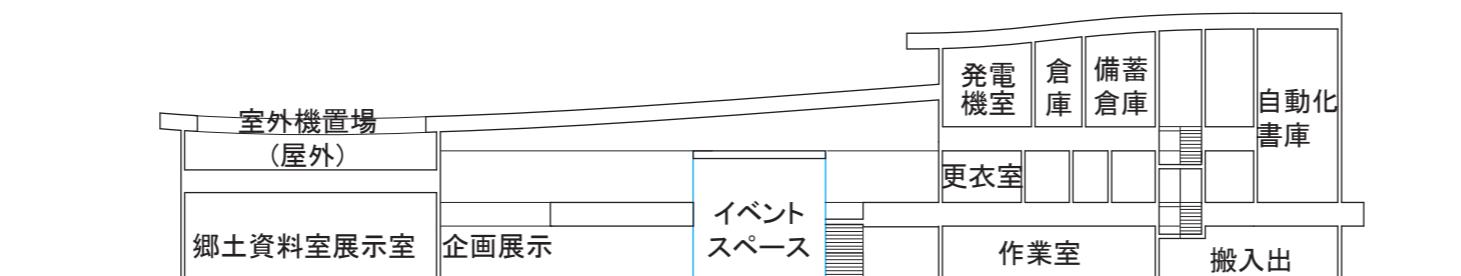
2階平面図 (新築棟)



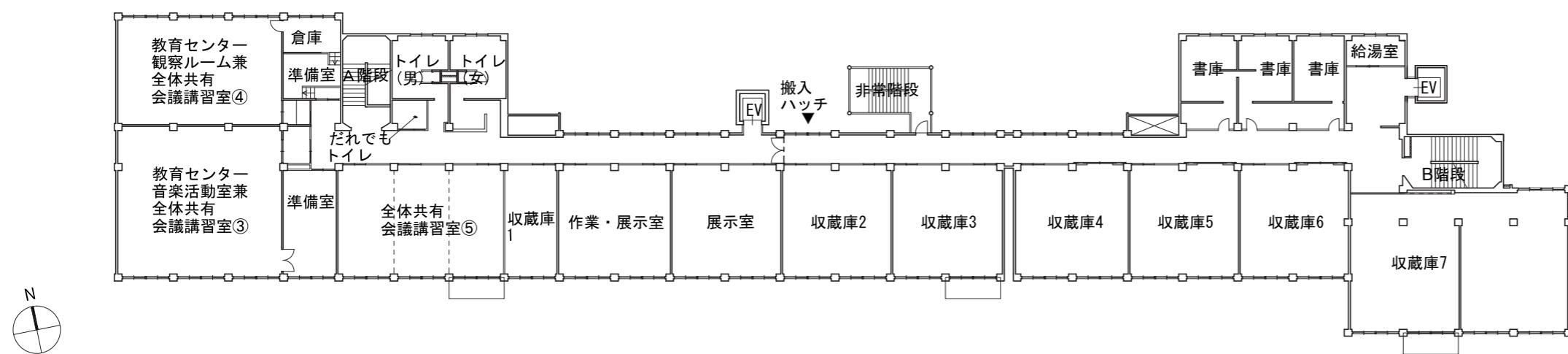
3階平面図 (新築棟)



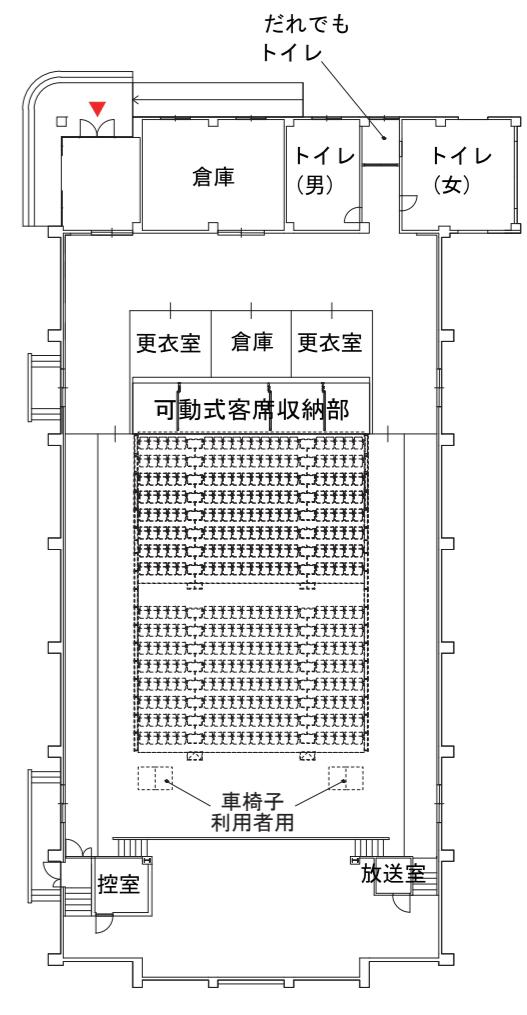
断面図 (新築棟)



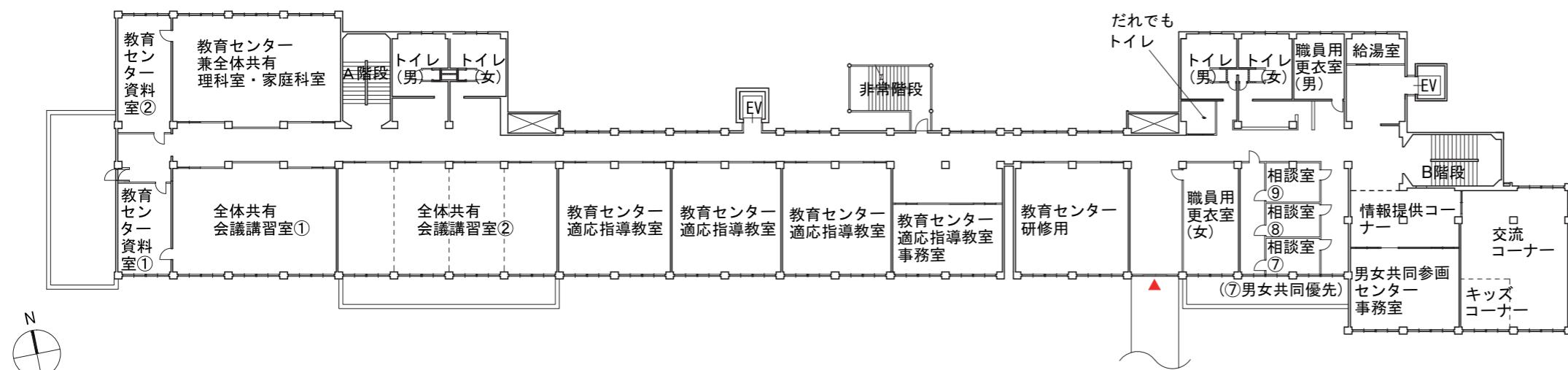
3階平面図（既存校舎）



平面図(既存体育館)



2階平面図（既存校舎）



1階平面図（既存校舎）

